

## お題『21世紀』

祝「マメシバ」発売！

みなさん、もう聞いていただけましたか？

私の20世紀最後のリリースとなるこのシングル。

ロンドンで菅野よう子さんが撮ってくれた写真がジャケットになっているのですが、この青空を見て！なんてあっけらかんとしているんでしょう、今の私そのもの！

たぶんあのタナボタライブ1の時から大きく動き始めた私の地球には、何より青空が似合うのです。もし時々雨や曇りに邪魔されても、その光はどんなときでも必ず私を照らしてくれるはず。そんな、超プラス思考のタナボタな世界。私は今そこで意気揚々と生きています。

誰にも文句は言わせない。

この2000年は私にとって大きな1年でした。

もちろん今までのどんな年も、その時の私にとっては大きなものでしたが、今の私には今年がもっとも大きな存在の年だったと思えます。二十歳という節目もそうだし、何より1stライブで知った新しい空間、そして海外での新鮮な出来事すべてが、次々と私にいろいろなものを与えてくれました。

誰か、私のことを「変わった」と言う人がいるでしょうか。デビューした16歳の時から考えると今の私はやっぱりそれなりに変わったと思います。二十歳になって私が実感しているのは、10代という時代がいかに特別かということです。

感受性豊かで、何ごとを吸収してパワーに変えることができる。ふわふわしていて不安定な存在だけど、だからこそ誰にも捕まえられない柔軟な体を持つてる。誰だって自分を確立させながら変わらなくちゃいけない、重要な時期。

私も年を重ねるたび、それどころか毎日、変化していました。その10代の一瞬一瞬を切り取って、こうして作品として残してこれたのは素晴らしいことだと思います。

そして20代に突入した今、ますますその続きを歩いていく自分がいます。止まりそうにないスピードで。ただ前と違うのは、その変化の「質」のような気がします。より現実的な、より責任重大な、よりシビアな問題や状況にぶつかっているから、変化の内容にも深みが出るというか。世界に試されている自分。

守ってくれる防波堤は前よりずっと低くなってる。夢に近付こうとするほど、欲しいものを手に入れようとするほど、やってくる大きな波。今年の私は、そいつらに立ち向かってきたと思う。悔しい思いも、めんどくさい思いも、痛かったり辛かったりすることも、この体で必死に受け止めてきたと自負しています。

でもその苦しさは、必ず後で何倍もの喜びになって返ってきました。そして私を成長させました。そうやってこの手でひとつひとつ確実に何かを掴んできたような気がします。

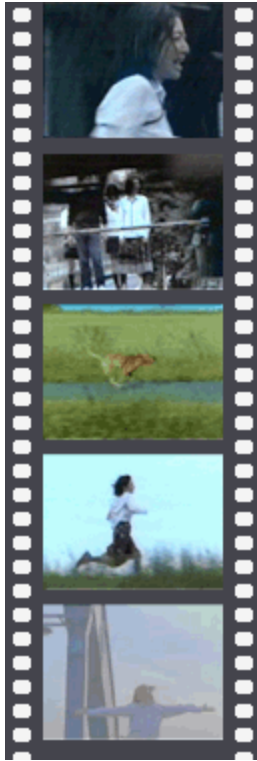
私を夢に導くのは、私しかいないんだって気付いたのです。私が行動しなきゃ、何も向こうからやってきてはくれないんだって。いや、もっと昔からそんなことぐらいわかってたのかもしれない。

それでもなぜか行動に移せなかったりおじけづいていたのは一体何のせいだったのでしょうか。今となってはそういう時期があつての結果だからそれもアリだと思えますが。

とにかくこの足があること、この口があつてこの脳みそがあること、そしてそれらは私が望めばきちんと動くということは、今年になってやっと意識できたことなのです。

なにはともあれ、幾多の困難と幸せを乗り越えながら自分を鍛えることのできた2000年。筋肉もついたし、精神的にも少したくましくなったみたい。そのたくましさにはこれからもっと磨きをかけて、21世紀を自分らしく生きて行くための武器にしていきたいです。変わらないなんてつまらない。私にはまだまだ未知の部分が多すぎ





る。私のDNAが持つて一生変わらない芯の部分を除いて、それ以外のところの変化を、これからもどうか見守っててください。私には名前がひとつしかない。この名前でやってくしかない。私は体をひとつしか持ってない。この体でやってくしかない。どんなことがあっても、私の代わりは誰もいない。選ぶ。探す。悩む。感じる。笑う。歌う。自分にしかできないことはいっぱいある。だからこれは私の人生。他の誰のものでもないし、他の誰かのためでもないし。そうやって誰でも必死に生きてる。でも決して孤独なのではなく、いつも必ず誰かが支えてくれる。美しいものに囲まれて、素晴らしい奇跡に守られて、大切な人に囲まれて、そうやってできている地球。私達の時代。これから始まるのはきっともっと素晴らしい時代。

21世紀。坂本真綾はまだ始まったばかり。これからが本番の20代。五感をフルに活用して、生きてやる。

\* maaya \*

... THE ID